



古今和歌六帖題目録

第一帖

歳時部

春

春三月

むし月

けふらけふ

けふらけふ

四月

わさ月

あまのこ

たけのこ

五月

ふゆ月

あまのこ

たけのこ

初夏

六月

あまのこ

たけのこ

あまのこ

七月

あまのこ

たけのこ

あまのこ

八月

あまのこ

たけのこ

あまのこ



輝

輝立白

輝月

九月

天

初名

心

天

あまのそら

輝月

夕ぼろ

初輝

十月

秋のま

神無月

佛名

あまのそら

あまのそら

あまのそら

冬月

有明

七夕

約

あまのそら

あまのそら

あまのそら

あまのそら

あまのそら

あまのそら

春月

夕や

朝

あまのそら

あまのそら

あまのそら

あまのそら

あまのそら

あまのそら

あまのそら

夏月

あまのそら

夏乃風

あまのそら

村雨

霞

霜

雪

かき流す

第二帖

山

やま

ら

夏乃風

あまのそら

時雨

あまのそら

霞

ら

輝乃月

あまのそら

あまのそら

あまのそら

あまのそら

あまのそら

冬乃風

あまのそら

あまのそら

あまのそら

あまのそら

あまのそら

あまのそら

あまのそら

あまのそら

あまのそら

あまのそら

あまのそら



人

人

人

人

人

人

人

人

人

佛事

寺

鐘

寺

寺

第三帖

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

水

第四帖

戀

あひ

かこ

夢

あひ

うき

あひ

うき

あひ

あひ

あひ

あひ

あひ

祝

あひ

あひ

あひ

あひ

別

あひ

あひ

あひ

あひ

あひ

あひ

あひ

あひ

あひ

あひ

あひ

あひ

第五帖

雑思

あひ

あひ

あひ

あひ

あひ

あひ

あひ

あひ

あひ

あひ

あひ

あひ

あひ

あひ

あひ

あひ

あひ

あひ

あひ

あひ

あひ

あひ

あひ

あひ

あひ

あひ

あひ

あひ

あひ

あひ

あひ

あひ

あひ

あひ

あひ







し

虫

し

し

し

し

し

し

し

し

し

し

し

木

木

木

木

木

木

木

木

木

木

木

木

木

木

木

木

木

木

木

木

木

木

木

木

木

木

木

木

木

木

木

木

木

木

木

木

木

木

木

木

木

木

木

木

木

木

木

木

木

木

木

木

木

木

木

木

木

木

木

木

木

木

しん	か	しん
あ	あ	あ
あ	あ	あ
あ	あ	あ
あ	あ	あ
あ	あ	あ
あ	あ	あ
あ	あ	あ
あ	あ	あ
あ	あ	あ

詞林採葉云六帖八貫之々女のうまふあつめり仍号  
紀家六帖云

古今和歌六帖第一

歳時

春日	親月	光日	残雪
子日	若菜	白馬	仲春
弥生	三日	暮春	卯花
初夏	更衣	卯月	首飾
仲夏	早苗月	丑日	
皆盡月	後	夏盡	
秋立日	早稲	織女	後朔
葉月	十六日	駒牽	七月
九日	燈盡		

初冬  
師馳  
天

神無月  
佛名

霜月  
潤月

神樂  
歲嘗

漢渚

照日

春月

夏月

秋月

冬月

新月

二月月

夕月夜

有明

夕暗

星

春風

夏風

秋風

冬風

山下

瓦

雜風

雨

白雨

寒雨

夕多子

雲

露

志津久

霞

霧

霜

雪

霰

冰

火  
電

煙  
景呂不

塵

雷  
鳴

古春上

春日

あめふり

いづれにやまのけしきもよきとて

古春上

純書

いづれにやまのけしきもよきとて

家集

いづれにやまのけしきもよきとて

拾春

かき

家集

いづれにやまのけしきもよきとて

古春上

二月

人伴

万八

いづれにやまのけしきもよきとて

いづれにやまのけしきもよきとて

萬八  
いんじんさくしん早蕨のさくら花の威をなほ

すまひ

古春上  
家  
まもぬ人にとりて萬花のさくら花の威をなほ  
かきつれおとすの野原のさくら花の威をなほ

友原言直

同  
萬花のさくら花の威をなほ  
今更の雪のさくら花の威をなほ  
萬花のさくら花の威をなほ

はなはらば

そせい法師

拾春  
あ集  
河ふたのさくら花の威をなほ

はなのあしん  
拾春

万十  
作者未詳  
はなはらば

はなはらば

松雜賀  
あ集  
あはらば

源のさくら花

松春  
あ集百首  
あはらば

万十  
新古  
梅のさくら花の威をなほ

貫入之

古春上  
あ集  
あはらば

あはらば

松云  
あまきりて柳の香を梅の花はけりなぐちりてさくら

百十  
他老あり  
あの人  
あまきりて柳の香を梅の花はけりなぐちりてさくら

後古  
あまきりて柳の香を梅の花はけりなぐちりてさくら

あまきりて柳の香を梅の花はけりなぐちりてさくら

万八  
あまきりて柳の香を梅の花はけりなぐちりてさくら

万九  
あまきりて柳の香を梅の花はけりなぐちりてさくら

あまきりて柳の香を梅の花はけりなぐちりてさくら

以下十一首  
不審才六帖  
のち

古春下  
他老あり  
才六帖  
素性二首

あまきりて柳の香を梅の花はけりなぐちりてさくら

あまきりて柳の香を梅の花はけりなぐちりてさくら

あまきりて柳の香を梅の花はけりなぐちりてさくら

あまきりて柳の香を梅の花はけりなぐちりてさくら

あまきりて柳の香を梅の花はけりなぐちりてさくら

あまきりて柳の香を梅の花はけりなぐちりてさくら

あまきりて柳の香を梅の花はけりなぐちりてさくら

才六帖

實之集

ふりては花をよみてあはれをいふも今更なる者か

一万十

子白

人付

初春のうらみおぼゆる花のうらみおぼゆる

家

ふりては花をよみてあはれをいふも今更なる者か

子白

ふりては花をよみてあはれをいふも今更なる者か

新撰於遠家

家

内原凡

ふりては花をよみてあはれをいふも今更なる者か

昔人

土佐日記

おちかみよすたののこゝろあはれをいふも今更なる者か

あ集

おちかみよすたののこゝろあはれをいふも今更なる者か

於云

おちかみよすたののこゝろあはれをいふも今更なる者か

あ集

うら

昔人

おちかみよすたののこゝろあはれをいふも今更なる者か

一万八

子白

おちかみよすたののこゝろあはれをいふも今更なる者か

あ集

新撰於遠家

おちかみよすたののこゝろあはれをいふも今更なる者か

古上

あ集

昔人

おちかみよすたののこゝろあはれをいふも今更なる者か

あ集

新撰於遠家

昔人

おちかみよすたののこゝろあはれをいふも今更なる者か

何よりあはれなるものありては君のあはれなるものあり

あはれ

わが心は君を人に見ればなり此の心は君を人に見ればなり

くみよしのあはれなるものありては君のあはれなるものあり

家持

あはれなるものありては君のあはれなるものあり

あはれ

あはれ

あはれなるものありては君のあはれなるものあり

あはれなるものありては君のあはれなるものあり

忠峯

あはれなるものありては君のあはれなるものあり

あはれなるものありては君のあはれなるものあり

あはれ

あはれなるものありては君のあはれなるものあり

あはれ

あはれなるものありては君のあはれなるものあり

あはれ

あはれなるものありては君のあはれなるものあり

あはれなるものありては君のあはれなるものあり

あはれ

あはれなるものありては君のあはれなるものあり

あはれなるものありては君のあはれなるものあり

あはれ

あはれなるものありては君のあはれなるものあり

あはれなるものありては君のあはれなるものあり



かゝ人のあはれなるをば  
あはれなるをば  
あはれなるをば

あはれなるをば  
あはれなるをば  
あはれなるをば

古春下

あはれなるをば  
あはれなるをば  
あはれなるをば

古春下

あはれなるをば  
あはれなるをば  
あはれなるをば

於述

あはれなるをば  
あはれなるをば  
あはれなるをば

あ

あはれなるをば  
あはれなるをば  
あはれなるをば

同

あはれなるをば  
あはれなるをば  
あはれなるをば

あ

あはれなるをば  
あはれなるをば  
あはれなるをば

あ集

あはれなるをば  
あはれなるをば  
あはれなるをば

古春下

あはれなるをば  
あはれなるをば  
あはれなるをば

あ

あはれなるをば  
あはれなるをば  
あはれなるをば

あはれなるをば

あはれなるをば

<sup>お</sup>夏はくさくさい地が板の間にあつたうらやまの  
<sup>素性集</sup>うらやまのうらやまのうらやまのうらやまのうらやまの

うらやまのうらやま

<sup>松文</sup>花はくさくさいうらやまのうらやまのうらやまのうらやまの  
<sup>未詳</sup>うらやまのうらやまのうらやまのうらやまのうらやまの  
卯花

うらやまのうらやま

<sup>お</sup>春はくさくさいうらやまのうらやまのうらやまのうらやまの  
卯の花

うらやまのうらやま

<sup>お集</sup>うらやまのうらやまのうらやまのうらやまのうらやまの  
<sup>松文</sup>卯の花のうらやまのうらやまのうらやまのうらやまの  
<sup>三々集</sup>うらやまのうらやまのうらやまのうらやまのうらやまの

うらやまのうらやま

<sup>お</sup>うらやまのうらやまのうらやまのうらやまのうらやまの  
<sup>百十</sup>うらやまのうらやまのうらやまのうらやまのうらやまの  
<sup>後文</sup>うらやまのうらやまのうらやまのうらやまのうらやまの  
<sup>延喜四年四月庚辰凡</sup>うらやまのうらやまのうらやまのうらやまの

うらやまのうらやま

<sup>松文</sup>うらやまのうらやまのうらやまのうらやまのうらやまの  
卯の花のうらやまのうらやまのうらやまのうらやまの  
卯の花のうらやまのうらやまのうらやまのうらやまの

<sup>お</sup>卯の花のうらやまのうらやまのうらやまのうらやまの  
卯の花のうらやまのうらやまのうらやまのうらやまの

あはれ

神乃と森の下草凡草のこころをさへりては都

五月

貫之

古色二  
五月のさくらとよみはなほさくらをみれば

未詳  
六月雨の苗のさくらをみればさくらをみれば

新和反  
七月のさくらをみればさくらをみれば

躬恒

赤集下

赤集下  
五月雨のさくらをみればさくらをみれば

赤集下  
六月雨のさくらをみればさくらをみれば

後反  
五月雨のさくらをみればさくらをみれば

あはれ

新和反

赤集

あはれ  
五月雨のさくらをみればさくらをみれば

五日

於反

延表御制衣

あはれ

赤集

あはれ  
五月雨のさくらをみればさくらをみれば

赤集

あはれ  
五月雨のさくらをみればさくらをみれば

あはれ

考之集

あはれ  
五月雨のさくらをみればさくらをみれば

日

あはれ  
五月雨のさくらをみればさくらをみれば

あはれ  
五月雨のさくらをみればさくらをみれば



新古今十八代女  
王とて入らねど  
いかに昔の能きの  
針やうと能く  
うらむ

松友

新古今

於  
いかに人あはれ

新古今

日暮りて家元

新古今十八代女  
王とて入らねど  
いかに昔の能きの  
針やうと能く  
うらむ

海

新古今十八代女  
王とて入らねど  
いかに昔の能きの  
針やうと能く  
うらむ

女  
新古今十八代女  
王

新古今十八代女  
王とて入らねど  
いかに昔の能きの  
針やうと能く  
うらむ

新古今十八代女  
王とて入らねど  
いかに昔の能きの  
針やうと能く  
うらむ

未詳

新古今十八代女  
王とて入らねど  
いかに昔の能きの  
針やうと能く  
うらむ

夏  
未詳

新古今十八代女  
王とて入らねど  
いかに昔の能きの  
針やうと能く  
うらむ

新古今十八代女  
王とて入らねど  
いかに昔の能きの  
針やうと能く  
うらむ

新古今十八代女  
王とて入らねど  
いかに昔の能きの  
針やうと能く  
うらむ

古  
新古今十八代女  
王

新古今十八代女  
王とて入らねど  
いかに昔の能きの  
針やうと能く  
うらむ

秋  
新古今十八代女  
王

新古今十八代女  
王とて入らねど  
いかに昔の能きの  
針やうと能く  
うらむ

秋  
新古今十八代女  
王

新古今十八代女  
王とて入らねど  
いかに昔の能きの  
針やうと能く  
うらむ

新古今十八代女  
王とて入らねど  
いかに昔の能きの  
針やうと能く  
うらむ

暖林と  
あまのこゝろ  
あまのこゝろ  
あまのこゝろ  
あまのこゝろ

和歌

未詳  
あまのこゝろ  
あまのこゝろ  
あまのこゝろ  
あまのこゝろ

あまのこゝろ

オホ帖云我のこゝろ  
あまのこゝろ  
あまのこゝろ  
あまのこゝろ  
あまのこゝろ

古林と  
あまのこゝろ  
あまのこゝろ  
あまのこゝろ  
あまのこゝろ

未詳  
あまのこゝろ  
あまのこゝろ  
あまのこゝろ  
あまのこゝろ

あまのこゝろ  
あまのこゝろ  
あまのこゝろ  
あまのこゝろ

未詳  
あまのこゝろ  
あまのこゝろ  
あまのこゝろ  
あまのこゝろ

あまのこゝろ

あまのこゝろ  
あまのこゝろ  
あまのこゝろ  
あまのこゝろ

オホ帖云我のこゝろ  
あまのこゝろ  
あまのこゝろ  
あまのこゝろ  
あまのこゝろ

あまのこゝろ

あまのこゝろ  
あまのこゝろ  
あまのこゝろ  
あまのこゝろ

あまのこゝろ

あまのこゝろ  
あまのこゝろ  
あまのこゝろ  
あまのこゝろ

あまのこゝろ  
あまのこゝろ  
あまのこゝろ  
あまのこゝろ

あまのこゝろ  
あまのこゝろ  
あまのこゝろ  
あまのこゝろ

あまのこゝろ  
あまのこゝろ  
あまのこゝろ  
あまのこゝろ

あまのこゝろ  
あまのこゝろ  
あまのこゝろ  
あまのこゝろ

あまのこゝろ  
あまのこゝろ  
あまのこゝろ  
あまのこゝろ

あまのこゝろ  
あまのこゝろ  
あまのこゝろ  
あまのこゝろ

あまのこゝろ

一とせし一松と  
 なるいたるの  
 書はなりなり

あまのこころを  
 しのびにたづね  
 けりてはなほ  
 しのぶ心ぞ  
 かなしき

あまのこころを  
 しのびにたづね  
 けりてはなほ  
 しのぶ心ぞ  
 かなしき

あまのこころを  
 しのびにたづね  
 けりてはなほ  
 しのぶ心ぞ  
 かなしき

あまのこころを  
 しのびにたづね  
 けりてはなほ  
 しのぶ心ぞ  
 かなしき

あまのこころを  
 しのびにたづね  
 けりてはなほ  
 しのぶ心ぞ  
 かなしき

あまのこころを  
 しのびにたづね  
 けりてはなほ  
 しのぶ心ぞ  
 かなしき

あまのこころを  
 しのびにたづね  
 けりてはなほ  
 しのぶ心ぞ  
 かなしき

あまのこころを  
 しのびにたづね  
 けりてはなほ  
 しのぶ心ぞ  
 かなしき

あまのこころを  
 しのびにたづね  
 けりてはなほ  
 しのぶ心ぞ  
 かなしき

あまのこころを  
 しのびにたづね  
 けりてはなほ  
 しのぶ心ぞ  
 かなしき

あまのこころを  
 しのびにたづね  
 けりてはなほ  
 しのぶ心ぞ  
 かなしき

あまのこころを  
 しのびにたづね  
 けりてはなほ  
 しのぶ心ぞ  
 かなしき

あまのこころを  
 しのびにたづね  
 けりてはなほ  
 しのぶ心ぞ  
 かなしき

あまのこころを  
 しのびにたづね  
 けりてはなほ  
 しのぶ心ぞ  
 かなしき

あまのこころを  
 しのびにたづね  
 けりてはなほ  
 しのぶ心ぞ  
 かなしき

あまのこころを  
 しのびにたづね  
 けりてはなほ  
 しのぶ心ぞ  
 かなしき

後  
落  
又  
山  
お

人赤集 仲秋 秋の病 仲秋 赤集

あ

秋方 今 秋 仲 秋

あ

七後 秋 仲 秋

あ

今古 秋 仲 秋

あ

期後 秋 仲 秋

あ

五凡 秋 仲 秋

あ

六凡 秋 仲 秋

あ

七古 秋 仲 秋

あ

八赤 集 仲 秋

赤



十一

後集

久松の山に雲は白く霞は白く

霞は白く雲は白く霞は白く雲は白く

雲は白く霞は白く雲は白く霞は白く

霞は白く雲は白く霞は白く雲は白く

後集

雲は白く霞は白く雲は白く霞は白く

後集

霞は白く雲は白く霞は白く雲は白く

後集

日集久方の月  
27  
何と云ふそ  
ぬるるる

あはれはの山に雲は白く霞は白く

霞は白く雲は白く霞は白く雲は白く

雲は白く霞は白く雲は白く霞は白く

霞は白く雲は白く霞は白く雲は白く

後集

雲は白く霞は白く雲は白く霞は白く

霞は白く雲は白く霞は白く雲は白く

後集

雲は白く霞は白く雲は白く霞は白く

十一

久松の山に雲は白く霞は白く

霞は白く雲は白く霞は白く雲は白く

雲は白く霞は白く雲は白く霞は白く

霞は白く雲は白く霞は白く雲は白く

後集

未詳  
月廿九日...  
未詳  
九月九日...  
未詳  
九月九日...

新古  
月廿九日...  
月廿九日...  
月廿九日...

再出  
高松下志つく

秋の...  
秋の...  
秋の...  
秋の...  
秋の...

近待集方卷勾  
比布下下今日

今日まて御日のあはれに侍る可也  
夕月のあはれに侍る可也  
弟はまて御日のあはれに侍る可也  
時雨のあはれに侍る可也

以上二首

古秋下  
夕月のあはれに侍る可也

後秋下  
時雨のあはれに侍る可也

以上二首歌

近待集下  
夕月のあはれに侍る可也

古秋下  
時雨のあはれに侍る可也

未詳  
紅雲あはれに侍る可也

以上

古秋下  
夕月のあはれに侍る可也

和文

未詳  
其枯乃音あて縁に坐りて今を待て候と云は  
かゝる月あはれに侍る可也

霜月

日  
秋は月あはれに侍る可也

後秋下  
時雨のあはれに侍る可也

古秋下  
夕月のあはれに侍る可也

霜月



才六帖様  
書

古々  
みよのりくさくさくさくさく  
あしはらひけり  
あはれをいひけり  
あはれをいひけり  
あはれをいひけり

古々  
あはれをいひけり  
あはれをいひけり  
あはれをいひけり  
あはれをいひけり  
あはれをいひけり

家持

萬千  
あはれをいひけり  
あはれをいひけり  
あはれをいひけり  
あはれをいひけり  
あはれをいひけり

佛一名

書下

古々  
あはれをいひけり  
あはれをいひけり  
あはれをいひけり  
あはれをいひけり  
あはれをいひけり

古々  
あはれをいひけり  
あはれをいひけり  
あはれをいひけり  
あはれをいひけり  
あはれをいひけり

古々  
あはれをいひけり  
あはれをいひけり  
あはれをいひけり  
あはれをいひけり  
あはれをいひけり

書下

才六帖様  
書

後云下  
あはれをいひけり  
あはれをいひけり  
あはれをいひけり  
あはれをいひけり  
あはれをいひけり

後云  
あはれをいひけり  
あはれをいひけり  
あはれをいひけり  
あはれをいひけり  
あはれをいひけり

兼補集  
あはれをいひけり  
あはれをいひけり  
あはれをいひけり  
あはれをいひけり  
あはれをいひけり

古々  
あはれをいひけり  
あはれをいひけり  
あはれをいひけり  
あはれをいひけり  
あはれをいひけり

古々  
あはれをいひけり  
あはれをいひけり  
あはれをいひけり  
あはれをいひけり  
あはれをいひけり

同書下  
あはれをいひけり  
あはれをいひけり  
あはれをいひけり  
あはれをいひけり  
あはれをいひけり

同書下  
あはれをいひけり  
あはれをいひけり  
あはれをいひけり  
あはれをいひけり  
あはれをいひけり



古歌下  
S... ..

日意一  
S... ..

公忠集  
S... ..

公忠集  
S... ..

公忠集  
S... ..

公忠集  
S... ..

公忠集  
S... ..

公忠集  
S... ..

公忠集  
S... ..

公忠集  
S... ..

S... ..

白雲の相計の  
...

於此柿赤  
...

古歌  
S... ..

古歌下  
S... ..

古歌下  
S... ..

古歌下  
S... ..

古歌下  
S... ..

古歌下  
S... ..

古歌下  
S... ..

古歌下  
S... ..

S... ..

古歌  
...

古歌  
...

文集月照平沙  
其二夜霜

月のあつき新人  
とほゆるて下人  
まつ宮再本  
才人たとゆら  
まふ

後主下  
年々あつき新人とほゆるて下人まつ宮再本才人たとゆらまふ  
万十六  
あつき新人とほゆるて下人まつ宮再本才人たとゆらまふ  
あつき新人とほゆるて下人まつ宮再本才人たとゆらまふ  
あつき新人とほゆるて下人まつ宮再本才人たとゆらまふ  
あつき新人とほゆるて下人まつ宮再本才人たとゆらまふ  
あつき新人とほゆるて下人まつ宮再本才人たとゆらまふ  
あつき新人とほゆるて下人まつ宮再本才人たとゆらまふ

昔人

あつき新人

夏月

あつき新人とほゆるて下人まつ宮再本才人たとゆらまふ  
あつき新人とほゆるて下人まつ宮再本才人たとゆらまふ  
あつき新人とほゆるて下人まつ宮再本才人たとゆらまふ  
あつき新人とほゆるて下人まつ宮再本才人たとゆらまふ  
あつき新人とほゆるて下人まつ宮再本才人たとゆらまふ  
あつき新人とほゆるて下人まつ宮再本才人たとゆらまふ  
あつき新人とほゆるて下人まつ宮再本才人たとゆらまふ  
あつき新人とほゆるて下人まつ宮再本才人たとゆらまふ  
あつき新人とほゆるて下人まつ宮再本才人たとゆらまふ  
あつき新人とほゆるて下人まつ宮再本才人たとゆらまふ  
あつき新人とほゆるて下人まつ宮再本才人たとゆらまふ  
あつき新人とほゆるて下人まつ宮再本才人たとゆらまふ

あつき新人

あつき新人



後下  
新原  
百十六  
川  
無  
...

黄人

年  
...

...

...

夏月

...

...

...

...

...

文集月照平沙  
其夜霜

月のあつき  
下人  
...

お集延元  
九月十二日

お集延元 九月十二日  
後抄下 中々  
お集延元 九月十二日  
後抄下 中々  
お集延元 九月十二日  
後抄下 中々  
お集延元 九月十二日  
後抄下 中々  
お集延元 九月十二日  
後抄下 中々

又上書

貫之

八世

お集延元 九月十二日  
後抄下 中々  
お集延元 九月十二日  
後抄下 中々  
お集延元 九月十二日  
後抄下 中々  
お集延元 九月十二日  
後抄下 中々  
お集延元 九月十二日  
後抄下 中々  
お集延元 九月十二日  
後抄下 中々

お集延元  
九月十二日

お集延元 九月十二日  
後抄下 中々  
お集延元 九月十二日  
後抄下 中々  
お集延元 九月十二日  
後抄下 中々  
お集延元 九月十二日  
後抄下 中々  
お集延元 九月十二日  
後抄下 中々  
お集延元 九月十二日  
後抄下 中々

又上書

お集延元 九月十二日  
後抄下 中々  
お集延元 九月十二日  
後抄下 中々  
お集延元 九月十二日  
後抄下 中々  
お集延元 九月十二日  
後抄下 中々  
お集延元 九月十二日  
後抄下 中々  
お集延元 九月十二日  
後抄下 中々

お集延元  
九月十二日

日 海の海より... 月を... 月を... 月を...

後松橋

月を... 月を... 月を... 月を... 月を...

月を

月を... 月を... 月を... 月を... 月を...

昔の人

昔の人

月を... 月を... 月を... 月を... 月を...

夜雲収盡月行遠

後松橋為成... 月を... 月を...

月を... 月を... 月を... 月を... 月を...

月を

月を... 月を... 月を... 月を... 月を...

月を

昔の人

古雅上  
あはれなる月影の  
あはれなる月影の  
あはれなる月影の

あはれなる月影の

あはれなる月影の  
あはれなる月影の  
あはれなる月影の

あはれなる月影の

あはれなる月影の  
あはれなる月影の  
あはれなる月影の

あはれなる月影の

あはれなる月影の  
あはれなる月影の  
あはれなる月影の

あはれなる月影の

あはれなる月影の  
あはれなる月影の  
あはれなる月影の

あはれなる月影の

あはれなる月影の  
あはれなる月影の  
あはれなる月影の

あはれなる月影の

あはれなる月影の  
あはれなる月影の  
あはれなる月影の

あはれなる月影の

あはれなる月影の  
あはれなる月影の  
あはれなる月影の

あはれなる月影の

あはれなる月影の  
あはれなる月影の  
あはれなる月影の

あはれなる月影の

あはれなる月影の  
あはれなる月影の  
あはれなる月影の

あはれなる月影の



夕花のうらみ人<sup>古意一</sup>のうらみ人<sup>古意一</sup>のうらみ人<sup>古意一</sup>

夕花のうらみ人<sup>古意一</sup>のうらみ人<sup>古意一</sup>のうらみ人<sup>古意一</sup>

夕花のうらみ人<sup>古意一</sup>のうらみ人<sup>古意一</sup>のうらみ人<sup>古意一</sup>

夕花のうらみ人<sup>古意一</sup>のうらみ人<sup>古意一</sup>のうらみ人<sup>古意一</sup>

夕花のうらみ人<sup>古意一</sup>のうらみ人<sup>古意一</sup>のうらみ人<sup>古意一</sup>

夕花のうらみ人<sup>古意一</sup>のうらみ人<sup>古意一</sup>のうらみ人<sup>古意一</sup>

夕花のうらみ人<sup>古意一</sup>のうらみ人<sup>古意一</sup>のうらみ人<sup>古意一</sup>

夕花のうらみ人<sup>古意一</sup>のうらみ人<sup>古意一</sup>のうらみ人<sup>古意一</sup>

夕花のうらみ人<sup>古意一</sup>のうらみ人<sup>古意一</sup>のうらみ人<sup>古意一</sup>

夕花のうらみ人<sup>古意一</sup>のうらみ人<sup>古意一</sup>のうらみ人<sup>古意一</sup>

夕花のうらみ人<sup>古意一</sup>のうらみ人<sup>古意一</sup>のうらみ人<sup>古意一</sup>

夕花のうらみ人<sup>古意一</sup>のうらみ人<sup>古意一</sup>のうらみ人<sup>古意一</sup>

古意一

古意一

古意一

古意一

古意一

古意一

未詳

赤子

赤子

赤子

赤子

赤子

人九集

人九集

人九集

人九集

人九集

人九集

未詳

赤子

赤子

赤子

赤子

赤子

赤子

赤子

赤子

赤子

赤子

赤子

未詳

赤子

赤子

赤子

赤子

赤子



花の風

花の風は春の風と異なり  
秋の風と異なり  
夏は

雨あらしの風は  
秋の風と異なり  
夏は

花の風は春の風と異なり  
秋の風と異なり  
夏は

花の風は春の風と異なり  
秋の風と異なり  
夏は

花の風は春の風と異なり  
秋の風と異なり  
夏は

花の風は春の風と異なり  
秋の風と異なり  
夏は

花の風は春の風と異なり  
秋の風と異なり  
夏は

花の風は春の風と異なり  
秋の風と異なり  
夏は

花の風は春の風と異なり  
秋の風と異なり  
夏は

花の風は春の風と異なり  
秋の風と異なり  
夏は

花の風は春の風と異なり  
秋の風と異なり  
夏は

花の風は春の風と異なり  
秋の風と異なり  
夏は

花の風は春の風と異なり  
秋の風と異なり  
夏は

花の風は春の風と異なり  
秋の風と異なり  
夏は

花の風は春の風と異なり  
秋の風と異なり  
夏は

花の風は春の風と異なり  
秋の風と異なり  
夏は





紅梅の香をしのぎてはるかに  
かたむねのこころ

あせつ

才女我せこ  
日林衣  
訂花林  
秋の  
凡はれ  
まろ

昔の  
梅月  
はるかに  
わが  
吹く  
冬  
吹く  
何

冬風

人

あせつ

あせつ

万三  
新  
山  
一本  
吹  
花  
お

松達...  
虫の...  
...

才二帖...  
...

我々...  
...

雜風

月...  
...

あ

雨...  
...

百記  
S... 11... 12... 13... 14... 15... 16... 17... 18... 19... 20...

あらん

同十  
未洋  
... 11... 12... 13... 14... 15... 16... 17... 18... 19... 20...

... 11... 12... 13... 14... 15... 16... 17... 18... 19... 20...

... 11... 12... 13... 14... 15... 16... 17... 18... 19... 20...

あらん

... 11... 12... 13... 14... 15... 16... 17... 18... 19... 20...

あらん

... 11... 12... 13... 14... 15... 16... 17... 18... 19... 20...

あらん

... 11... 12... 13... 14... 15... 16... 17... 18... 19... 20...

... 11... 12... 13... 14... 15... 16... 17... 18... 19... 20...

... 11... 12... 13... 14... 15... 16... 17... 18... 19... 20...

... 11... 12... 13... 14... 15... 16... 17... 18... 19... 20...

... 11... 12... 13... 14... 15... 16... 17... 18... 19... 20...

... 11... 12... 13... 14... 15... 16... 17... 18... 19... 20...

... 11... 12... 13... 14... 15... 16... 17... 18... 19... 20...

... 11... 12... 13... 14... 15... 16... 17... 18... 19... 20...

... 11... 12... 13... 14... 15... 16... 17... 18... 19... 20...

... 11... 12... 13... 14... 15... 16... 17... 18... 19... 20...

貫之

... 11... 12... 13... 14... 15... 16... 17... 18... 19... 20...

... 11... 12... 13... 14... 15... 16... 17... 18... 19... 20...

17 昔の雨のふりしは

17 昔の雨のふりしは

17 昔の雨のふりしは

か

17 昔の雨のふりしは

17 昔の雨のふりしは

か

17 昔の雨のふりしは

か

17 昔の雨のふりしは

か

永集

17 昔の雨のふりしは

17 昔の雨のふりしは

か

17 昔の雨のふりしは

か

17 昔の雨のふりしは

17 昔の雨のふりしは

17 昔の雨のふりしは

17 昔の雨のふりしは

か

17 昔の雨のふりしは

みつね

伊勢

あまのついでにわたりて今も雨にまじりて

あまのついで

あまのついでにわたりて今も雨にまじりて

あまのついでにわたりて今も雨にまじりて

あまのついでにわたりて今も雨にまじりて

あまのついで

あまのついでにわたりて今も雨にまじりて

あまのついでにわたりて今も雨にまじりて

いせ集  
六月五日  
人の村  
あまのついでにわたりて今も雨にまじりて

人麿

あまのついで

あまのついでにわたりて今も雨にまじりて

あまのついでにわたりて今も雨にまじりて

あまのついでにわたりて今も雨にまじりて

人麿

あまのついでにわたりて今も雨にまじりて

あまのついでにわたりて今も雨にまじりて

人麿

あまのついでにわたりて今も雨にまじりて

あまのついでにわたりて今も雨にまじりて

あまのついでにわたりて今も雨にまじりて

日新千枝下  
紅の可曲  
雨の可曲  
日新千枝下

以上五首

君

人あつちの秋よ志ん人あつちの秋よ

白  
初あつちの秋よ志ん人あつちの秋よ

初あつちの秋よ志ん人あつちの秋よ

初あつちの秋よ志ん人あつちの秋よ

初あつちの秋よ志ん人あつちの秋よ

初あつちの秋よ志ん人あつちの秋よ

初あつちの秋よ志ん人あつちの秋よ

おまへ

初あつちの秋よ志ん人あつちの秋よ

初あつちの秋よ志ん人あつちの秋よ

初あつちの秋よ志ん人あつちの秋よ

初あつちの秋よ志ん人あつちの秋よ

初あつちの秋よ志ん人あつちの秋よ

初あつちの秋よ志ん人あつちの秋よ

初あつちの秋よ志ん人あつちの秋よ

初あつちの秋よ志ん人あつちの秋よ

初あつちの秋よ志ん人あつちの秋よ

初あつちの秋よ志ん人あつちの秋よ

初あつちの秋よ志ん人あつちの秋よ

初あつちの秋よ志ん人あつちの秋よ

初あつちの秋よ志ん人あつちの秋よ

初あつちの秋よ志ん人あつちの秋よ

初あつちの秋よ志ん人あつちの秋よ





未詳

Handwritten cursive text, likely a name or title.

今中

一

Handwritten cursive text.

一

Handwritten cursive text.

一

Handwritten cursive text.

一人

Handwritten cursive text.

一

後雅一

Handwritten cursive text.

霧

一

Handwritten cursive text.

一

後雅一

Handwritten cursive text.

一

後秋中

Handwritten cursive text.

Handwritten cursive text.

Handwritten cursive text.

一

後意三

Handwritten cursive text.























100000

萬の...  
 一...  
 二...  
 三...  
 四...  
 五...  
 六...  
 七...  
 八...  
 九...  
 十...

一...  
 二...  
 三...  
 四...  
 五...  
 六...  
 七...  
 八...  
 九...  
 十...

赤人













